

経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

兵庫県 伊丹市

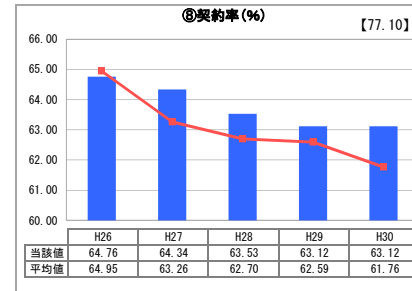
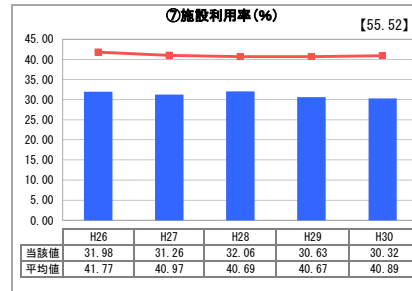
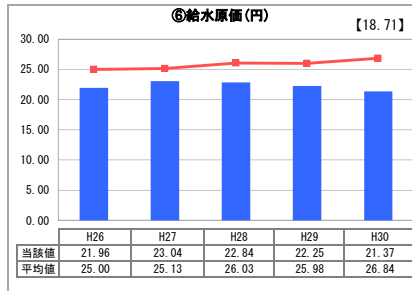
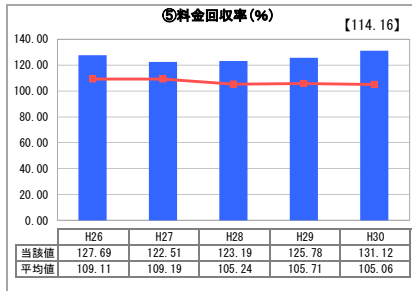
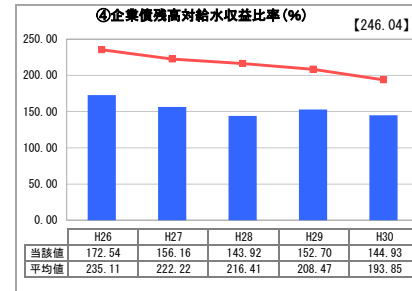
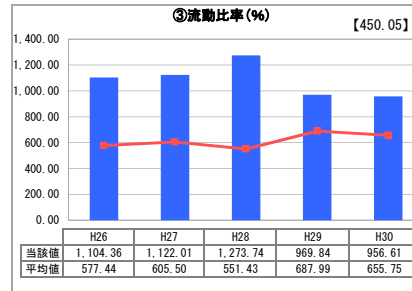
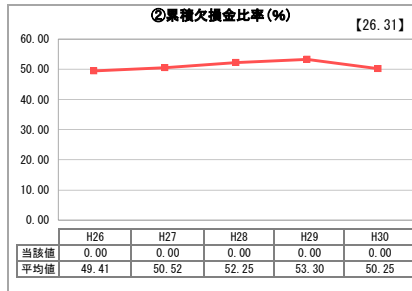
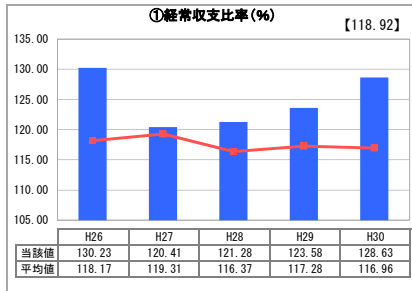
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	50,000	中規模	1	15,159
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	81.8	29	31,562	自治体職員	

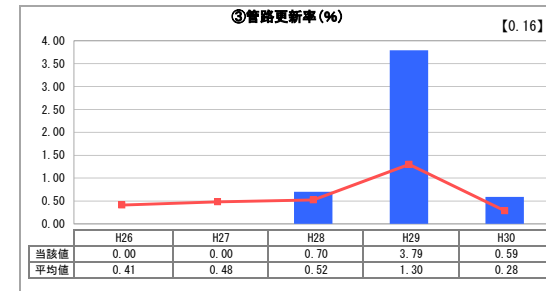
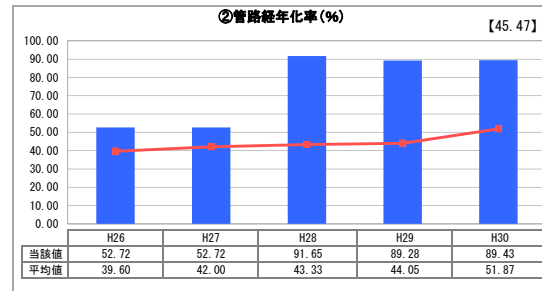
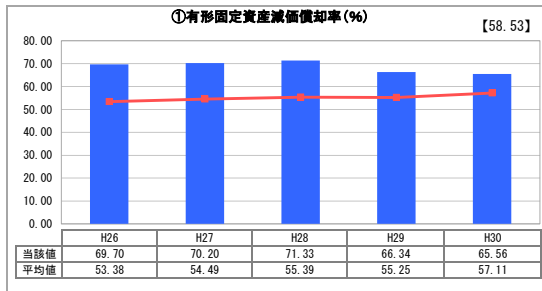
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回り、類似団体平均値と比較しても上回っているため経営状況は健全な水準にあるといえます。

② 流動比率は、必要とされる100%を大きく上回っており、類似団体平均値と比較しても上回っているため経営状況は健全な水準であるといえます。

③ 企業債残高対給水収益比率は、減少傾向にあり、類似団体平均値と比較しても低い値となっていますが、今後も計画的な企業債発行と償還で現在の水準を維持する必要があります。

④ 料金回収率は、100%を上回っており、類似団体平均値と比較しても高い水準にあります。

⑤ 給水原価は、経営の効率化・健全化に向けた取り組みを継続的に実施してきたこともあり、類似団体平均値と比較して低い水準にあります。

⑥ 施設利用率は、類似団体と比べて低い水準であることから、施設のダウンサイジング等、施設の最適化に取り組んでいく必要があります。

⑦ 契約率は類似団体平均値と比較して上回っているものの、今後も減少傾向が見込まれることから、施設の最適化に取り組んでいく必要があります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、平成29年度から減少傾向にありますが、類似団体と比較して高い水準にあります。

② 管路経年化率は、平成26年から平成30年までの5年間で52.72%から89.43%へと大きく増加しており、管路の更新の必要性が高まっています。

③ 管路更新率は、類似団体平均値と比較して上回っています。今後も実使用年数を考慮した管路更新を計画的に行っていく必要があります。

全体総括

当市の給水事業所は近年、減少傾向にあり、今後も減少することが予測されます。

また、給水量についても、効率的な水使用の徹底や事業の縮小及び工場の集約化等により、今後も減少することが予想されます。

一方、管路の経年化率は増加傾向にあり、法定耐用年数を超過した管路が増加してきていることから、今後、多額の更新費用が必要となり、厳しい経営環境が続くと考えられます。

これらに対応し、健全性を維持し、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、引き続き経営戦略に基づいた計画的な施設の耐震化・更新改良に努めていきます。